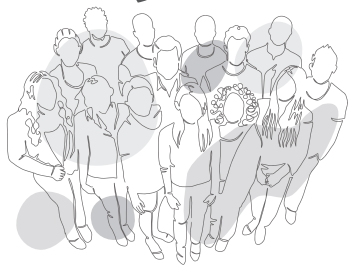


保護者と指導員が力をあわせて、 子どもが主体者の よりよい学童保育をつくりましょう



全国学童保育連絡協議会 事務局長
高橋 誠



共に「私たちの重点課題」に
取り組みましょう

二〇二三年一〇月二十九日、全国学童保育連絡協議会（以下、全国連協）は定期総会を開催しました。東京都内に設けた会場に四五名が集い、インターネットを介して全国六五地点以上から参加がありました。

この定期総会で承認された「二〇二三年度 活動方針」における「私たちの重点課題」では、つぎの四点をあげています。

①子どもの権利が保障され、子どもが安心して豊かに育ちあえる学童保育と地域社会の実現をめざします。

②「子ども・子育て支援新制度」が果たした役割を評価・分析し、課題を明らかにし、学童保育の目的・役割を果たすことができるよう制度の拡充を求めます。学童保育を必要とする子どもが全員学童保育にはいることができ、保護者が安心して子どもを託すことができる制度を求めます。

③指導員問題の抜本的な解決に向け、指導員の「常勤・複数・専任」配置および正規職員配置の必要性をあらためて提唱するとともに、指導員の確保・定着に向けた方策を研究、提言していきます。

④子ども・保護者・指導員が置かれている現状や課題をもとに、保護者会・地域連絡協議会、指導員会組織、

つぎは本誌をくらんどください